

**海老名市立柏ヶ谷小学校 学校運営協議会 議事録**  
**(令和6年度 第1回)**

- 1 日時 令和6年5月18日(土) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立柏ヶ谷小学校 会議室
- 3 出席委員 山崎久男委員、大矢和正委員、森山輝男委員、森田博明委員、中垣洋委員、羽太勇委員、松本孝夫委員、齊藤裕子委員、鈴木佳子委員、國次千絵委員、藤原絵里奈委員、石井友紀(校長)、高橋一子(教頭)、青山明裕(教務主任)

**4 会議の内容**

**(1) 校長挨拶**

石井校長：本協議会では、学校運営についてご意見を頂戴し、共に学校づくりを行っていききたい。

**(2) 委員自己紹介(委嘱状交付)**

校長が各委員へ委嘱状を交付。その後、自己紹介。

**(3) 会長・副会長の選出**

会長に山崎委員を選出。副会長に萩原正規委員(当日欠席)を選出。

**(4) ○今年度の学校経営方針と今後の行事について(進行：山崎会長)**

石井校長：①概要説明

②柏ヶ谷中学校区小中一貫教育目標

③令和6年度学校経営方針(グランドデザイン提示)

④児童の活動紹介と今後の行事の説明(写真提示)

**○社会に開かれた教育課程について**

社会に開かれた教育課程表「つなげる⇄つながる柏中学区」の説明と活動紹介。

齊藤委員：学校応援団について説明

水泳学習の補助…見学者の引率が主。トイレの付き添いや鼻血やけがの対応にあたっている。

サマースクール…夏休みサマースクールで講座を開設。あそびっこのパートナーを中心に身近な人を講師にして計画。

遠足の引率……遠足の付き添い。

稲作学習の補助…5年生の稲作の学習時、自治会と協力して稲作の指導をしている。

あそびっこ……参加率が高い。下級生の面倒を見ながら遊ぶ児童が増えてきている。日陰がないので、子どもたちの休憩場所に困っている。

鈴木委員：図書ボランティアについて

月1回、各クラスで読み聞かせ。5月(1年生向け)と3月(6年生向け)にパネルシアター。サマースクールでも活動。子どもたちが本

に親しみをもってくれるように活動を工夫している。

大矢委員：長寿会（シニアクラブ・ゆめ倶楽部）の活動について立哨と下校の見守り実施。東柏シニアクラブ（木）、ゆめ倶楽部（月と金）。子どもたちに交通安全を呼びかけると同時に、不審者からも守っていきたい。学校の交通安全教室にも参加している。通学路にガードレールがない所があり、心配している。道幅等の問題もあるが、交通量を考えると設置してほしい。

國次委員：PTA活動について

PTAは本来任意加入であり、来年度は、海老名市全体で、全世界帯に加入の意志を確認する方向性である。PTA活動について周知するため、懇談会の時に説明し、PTA活動に関するアンケート調査を行った。今後の活動の在り方について、協議を重ねている。

## （５）意見交換（進行：山崎会長）

### ①学校経営方針について

松本委員：「言語活動」というのは、どのような活動のことか。

石井校長：自分の考えを理由とともに順序だてて相手に伝えることが難しい児童が多い。話し合う機会を多く設定するなど工夫し、改善を図りたい。

大矢委員：たてわり活動について詳しく知りたい。

石井校長：1年生から6年生までの異学年で班を編成し、一緒に掃除したり1年生を迎える会で交流したりしている。1グループは7人。子どもたちから「やりたいこと」が出てくることを期待している。兄弟関係や相性などを考慮してグループ編成を行った。1年間は変わらない。

中垣委員：他にいいネーミングはないか。今後子どもたちが自主的にやれるようになるとよい。

山崎会長：今回、県と市が取り組もうとしているフルインクルーシブは、全国的に見ても珍しい。子どもたちや保護者にどうやって理解を図っていくのか。また、今後の市や県の取り組みの方向性は出ているのか。

石井校長：子どもや保護者に対しては、「誰も取り残さない」という今の教育活動を伝えていく。県や市からは、みなさんの意見を聞き、共にどうしたらよいかを考えていく年にしていくと聞いている。

國次委員：不登校児童対策としてのぼかぼかルームを利用している児童の様子を知りたい。

石井校長：利用している子ども同士で自分語りができ、笑いあうことができた、分かり合える相手が出てきたという声を聞いている。

鈴木委員：ぼかぼかルームでは具体的に何をしているのか知りたい。

石井校長：基本は、その子がやりたいこと、好きなことを支援している。

藤原委員：その子その子で、やりたいことが違う。その日の気分にもよる。部屋に誰がいるかで変わることもある。

國次委員：保護者同士のつながりがなく、孤立していると感じる。例えば、授業参観後の懇談会で、保護者同士がつながるような場は作れないか。

山崎会長：統一テーマを学校側で設定して話す機会を作ってくれるといい。

## ②社会に開かれた教育課程について

中垣委員：P T Aも自治会も、互助・共助に注目するとよい。

國次委員：意義は理解していても、共働き家庭も多く、P T A活動を負担に思う人が多い。

中垣委員：自治会も同じ。イベントの時だけ参加するイベントサポーターなら、やってくれる人がいる。P T Aも「まずはやってみる」機会を設けてみるとよい。

藤原委員：世間のネガティブなイメージをなくしたい。

中垣委員：活動を柔らかく伝える機会を増やすとよいのではないか。

山崎会長：P T Aの組織がなくなった学校がある。そうした学校の取り組みから学ぶということも考えられる。

國次委員：情報収集はしている。P T A活動がなくなっても大丈夫と言っている所もあるが、地域性もありそのまま参考にはできない。

山崎会長：活動の根本は、互助の精神が大事。この話題については、今後も継続して話題としたい。

## ③その他 特になし

## (6) 事務連絡

①今後の日程確認 第2回…R 6. 11. 22 (金) 第3回…R 7. 2. 22 (土)

②中学校区学校運営協議会について R 6. 9. 27 (金) 開催予定